

## 大垣市議会一般質問始まる 笹田議員、来年度予算の見直し、農業問題、雇用・貧困問題で質問

12月議会一般質問は12月7日午前10時から始まります。私は、①来年度予算編成について ②大垣の農業について ③雇用・貧困問題の3点について質問を予定しています。質問は7番目で午後の2時ごろの予定です。是非傍聴をお願いします。 大垣市議会議員 笹田 トヨ子

### 県の大幅な福祉予算削減の中で の大垣予算編成について

岐阜県は来年度予算編成にあたり財源不足を理由に693事業の見直しを行い、その中には乳幼児の医療費の助成など県民のくらし、福祉、教育など直接影響を与える事業が補助金の削減対象になっています。大垣市の予算編成にとってどのような影響が出てくるのか以下について質問します。

①来年度市税収入の見込みはどれだけか？

②県の事業見直しで大垣市にはどのくらいの影響が出てくるのでしょうか？

### 基幹産業として 大垣の農業の振興を

民主党政権のもとで進められている農業政策について、期待とともに不安も大きくなっています。以下について質問します。

1. 戸別所得補償政策は、農家を大小区別せず、対象

の農産物を生産・販売する全農家に、販売価格と生産コストの差額を基準として所得補償をするとされています。しかし、米の生産費の中の労働費は80%しか認められず、最低賃金すら保障されません。また、保障単価は全国一律にすることです。大垣の場合、どれほどの向上が期待できるのでしょうか。

2. 転作政策について、昨年までの転作助成である産地づくり交付金は作物ごとの助成額は地域の裁量で決めることができましたが、今回は全国一律で麦・大豆が95000円ということ。大垣の場合今までの助成水準と比べてどのようなものか。今までと比べて下回るようでは、増産意欲に繋がりません。

3. 農地の改良について、水田を多面的に利用して食料自給率を向上させていくことが大事だと考えます。大垣市では、用水と排水が併用になっているなど水の管理が難しく稲作以外の作物に適さない水田が少なくないと言われています。海津地域のように土地改良することで多様な野菜作りも可能となると聞きますが、今後の大垣の農業にとってその見直しはいかがか。

4. 県の予算編成にあたり財源不足を理由に大幅な

事業見直しが行われています。農業関連の補助事業ではどのような影響が予測されるか。また、補助金の削減など出されてきた場合、市民の負担にならないように求めます。

5. ブロッコリー部会ができ、4.5haの作付面積で特産として売り出されているということですが、是非規模を拡大し学校給食にも安定的に提供できるよう、市の支援を求めます。

### 有効求人率0.4%市の取組は

この1年間、雇用情勢は好転せず、厚生労働省の推計では、この年末には雇用保険の支給が切れる人は約39万人になるとみられ、今年の年越しは昨年より大変になるのではと危惧されています。

こうした情勢の下、大垣市の雇用・貧困問題について質問します。

1. 大垣地域には失業者はどれだけ、失業給付が切れる人はどれだけと想定されていますか。また、その対応策は？

2. 大学および高校の新卒者の就職内定状況は？

内定のきまらない新卒者に対しては、職業訓練校へ行くための授業料支援などを行ってはいかがか。

3. この1年間の就学援助や生活保護の実態を明らかにし、その対応策はどうなっているか。

4. 11月30日、失業者らに対する総合支援窓口「ワンストップサービス」が試行され、年末までには全国一斉で開催されるとのこと。大垣地域においても取り組みがされると思うが、その体制は？